

偶然は、準備のない者に微笑まない

ルイ・パスツール (Louis Pasteur)

ルイ・パスツール (Louis Pasteur, 1822年12月27日 - 1895年9月28日) は、フランスの生化学者、細菌学者です。「科学には国境はないが、科学者には祖国がある」という言葉でも知られています。ロベルト・コッホとともに、「近代細菌学の開祖」といわれています。分子の光学異性体を発見。牛乳、ワイン、ビールの腐敗を防ぐ低温殺菌法 (パストリゼーション) を開発。またワクチンの予防接種という方法を開発し、狂犬病ワクチン、ニワトリコレラワクチンを発明しました。

狂犬病のワクチンを発明して、狂犬に噛まれた少年にワクチンを接種して回復させたことによって、パスツールの研究は認められました。しかし、それは偶然ではなく、狂犬病の原因がウイルスであることを突き止め、ワクチンを作っていたからこそ、突然担ぎ込まれた少年を救うことが出来たのです。

一見、偶然に見えることも、精一杯の準備をしているからこそ起こるものです。

私達も、毎日できることを精一杯やり続けたいですね。